



一心に写経に打ち込む参加者

おもてなしの心で迎えるお盆

お盆はご先祖様をこの世に迎え、親戚等が集まって供に食事をするなど、この世とあの世の者が一堂に会する、正に「俱会一処」の機会となります。

「お盆」の起源は「盂蘭盆経(うらぼんきょう)」という経典に記されています。お釈迦様の弟子に目連尊者という方がいて、餓鬼道に堕ちた母を救いたいとお釈迦

様にその方法を尋ねたのです。そうするとお釈迦様は「僧たちが夏の修業を終える七月十五日に、彼らに食べ物や飲み物を献じれば、その功德によって汝の母を救うことができます」と説かれました。これが日本の先祖供養と結びつき、地域によって七月または、ひと月遅れの八月に先祖供養の行事として行われるようになったのです。



第2号
発行：大念寺
小矢部市中央町1-34
TEL0766(67)1260

「写経会」好評開催中!

六月よりスタートした「写経会」は毎月第三土曜日の午前中に開催しています。七月の2回目は準備した十五席のうち十二席が埋まる盛況ぶりでした。参加者の同期は皆さん様々ですが、六月にNHKで放映した写経の番組がきっかけという方もチラホラ。これまで関心はあったけど、機

会がなかったとういうところでしょうか。
お経は「四誓偈」「発願文」「二枚起請文」「般若心経」の中から選びます。ちよつとだけ日常から離れた空間で黙々と写経に打ち込んでみてはいかがでしょう



「供養とは「供物養心」を略した言葉です。仏様や亡くなられた方にお供え物をするこゝとにより、自身の心を養わせていただけるという意味です。

どうぞ、お盆にはお家に帰られた大切な方々の霊を、皆でしっかりとご供養され、この世の一処で心を通わせていただければありがたいことです。

大念寺では、お盆の期間中十三日〜十六日までの毎日、無縁のお墓も含め境内のすべてのお墓に献花をし、霊をお呼びしてご供養させていただきます。

「施餓鬼」とは?

お盆の時期に行うことが多い仏教行事です。餓鬼(がき)とは、生前の悪行によって亡者の世界に落とされた魂や無縁仏となつていような霊や魂の事を言い、常に飢えと乾きに苦しんでいるものを指します。

施餓鬼とは、そういう者たちにも食べ物や飲み物などの供物を施すことで餓鬼の供養を行う法要行事です。

お盆には亡くなった祖先や家族たちの供養を行うのと同時に、餓鬼の供養も行うことで徳を積むことができますとされています。

八月の写経会は 八月二十六日開催

毎月第三土曜日開催としていますが、八月はお盆と重なるため開催日が変更になります。

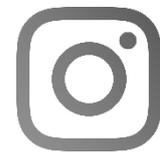
- 年内の写経会予定日
- 九月十七日(土)
- 十月十五日(土)
- 十一月十九日(土)
- 十二月十七日(土)

今夏の墓地の除草・清掃について

境内墓地の除草・清掃の一斉作業につきましては、新型コロナウイルスの再拡大傾向を勘案しまして、本年も実施いたしません。皆様のご都合の良いときに各自行っていただきますようお願いいたします。



Instagram始めました
アカウント名は「daineng1340」です。
フォローいただければ幸いです



DAINENG1340

「お地蔵さん」こと

八月二十四日 地蔵祭り



大念寺の地蔵堂の歴史は明治初期にさかのぼります。老朽化により平成八年に建て直しされました。お堂の中には大小およそ百七十体のお地蔵さんが並んでいます。市内では観音寺と並んで最大級の地蔵堂と言えます。言い伝えによれば、町奉行所が町中に点在していたお地蔵さんを2つのお寺に集約したとのこと

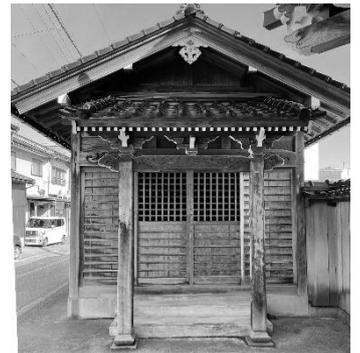
お地蔵さんは、やさしく慈悲にあふれるお顔が特徴で、道祖神として地域の境

目の道端でもよく見かけます。

正式には地蔵菩薩というお名前、仏様ではなく、仏になるべく修行中の「菩薩」という身分になります。平安時代末期の末法思想の世の中で広まった信仰ですが、祈願を起せば、いかなるところにも現れて救いの手を差し伸べてくれるという「弱者の味方」として国民的な人気を得るようになりました。お地蔵さんは、観音さんとともに宗派に関係なく各寺院で祀られているところからも人気があります。大念寺では門徒云々に関係なく、市内の地蔵祭りに出向き読経をしているところが五箇所あります

地蔵盆

親よりも先にこの世を去ってしまった子供が、賽の河原で苦しんでいるところを助けるのがお地蔵さんであることから、明治以降お盆行事と結びつき、子供主体の「地蔵



鐘樓門横にある地蔵堂

盆」が全国で行われるようになりしました。旧暦の七月二十四日もしくは一か月遅れの八月二十四日に行われているようです。大念寺では毎年八月二十四日に読経、ご詠歌によりお祭りしています。

かつては小中高生のみで運営されており、夏休みみのレクリエーションのひとつでしたが、町内人口減、少子化により現在では大人により運営されています。お供え物は子供が喜ぶお菓子中心で、最後に子供たちに配られます。

大念寺地蔵祭り
八月二十四日(水)
よる七時から
於・大念寺地蔵堂

おてらおやつクラブ

六月二五日、仏様にお供えしたお下がりを「おてらおやつクラブ」の仕組みを利用して写真の通りお送りしました。送り先は公平な仕組みになっていて、その中から最も近隣の子供を支援する団体様を選ばせていただきます。受け取られた団体様からは、受け取りのお札が寄せられました。食べきれない食品や使いきれない日用品などありません。たら、どうぞお参りの際にでもお預けください。お供えの後、お下がりとしてお送りします。



大念寺の② 仏さま紹介

ご本尊の脇侍(わきじ)

【観音菩薩】
かんのんぼさつ

本堂のご本尊阿彌陀さまの左隣(向って右)の脇侍としていらっしゃるのが観音菩薩です。

観音菩薩は阿彌陀如来の「慈悲」をあらわす化身とされ、「智慧」をあらわす化身とされる右脇侍の勢至菩薩と合わせて、阿彌陀三尊像と言われています。

両脇侍はお顔、お姿、衣装とほぼ同じで見分けがつきませんが、観音さまは臨終の際の来迎図でも画かれているように、極楽往生を遂げる人に乗せるために蓮の台座を手を持っておられます。阿彌陀さまの先頭に立って迎えに来られるのです。

